

ナムグム第一水力発電所拡張計画【ラオス】

施策所管局課 国別開発協力第一課

評価年月日 令和6年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	ラオス人民民主共和国
(2) 案件名	ナムグム第一水力発電所拡張計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	ラオスビエンチャン県ナムグム水系に位置するナムグム第一水力発電所において水車発電機を増設することにより、ビエンチャン首都圏のピーク電力需要への対応能力の強化を図り、もって同国内の安定的、持続的かつ効率的な電力供給の拡大に寄与するものである。 案件の内容 ・ 水力発電機一基増設工事 ・ コンサルティング・サービス ア 閣議決定日：平成25年5月21日 イ 供与限度額：55.45億円 ウ 金利：0.55%（コンサルティング・サービスについては、0.01%） エ 償還（据置）期間：40年（10年） オ 調達条件：一般アンタイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業計画当初、過去10年間で電力量の需要は年平均15%拡大する一方、国内電力供給源のほぼ全てを水力発電が占めており、乾期に電力供給力の不足が顕著となっていた。特に、首都圏があるラオス中部地域を中心として、電力の安定供給の観点から、ナムグム第一水力発電所の活用促進が求められていた。 現在においても、電力量の需要は年率約13%伸びており、また、ラオスの国内電力供給源の約9割を水力発電が占めている。そのため、同発電所には、乾期も含めた電力の安定供給に貢献する重要な役割が引き続き見込まれることから、本事業に関する社会的ニーズが引き続き認められる。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 先方政府によるコンサルタント選定手続き、詳細設計、入札、入札評価及び請負業者契約締結手続きの各プロセスで遅延したことに加え、着工後も大雨や新型コロナ

	ウイルス感染症による工事の中断等により遅延が発生したが、2022 年 3 月に完工。 現在は、完工後の最終支払に向けた協議を実施している。
(2) 今後の対応方針	上記(1)イのとおり、工事は全て完了しており、早急に貸付完了できるよう、支援を継続する。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ そのほか国際協力機構から提出された資料